

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱 UFJ e スマート証券株式会社（証券コード：ー）
（旧 au カブコム証券株式会社）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
短期発行体格付	J-1+

■格付事由

- (1) 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）のネット証券会社。従来、議決権は三菱 UFJ 証券ホールディングス（MUSHD）が 51%、KDDI が 49%を保有していたが、25 年 1 月に MUFG が三菱 UFJ 銀行（MUBK）を通じて完全子会社とし、社名を au カブコム証券から三菱 UFJ e スマート証券に変更した。経営管理やリスク管理、財務、資本運営において当社はグループの枠組みに組み込まれており、人的な関与を含め MUFG による関与度は強い。また、MUFG はネット証券戦略を強化する方針を掲げており、当社はその中核を担うなど、グループにおける経営的重要度は高い。これらを踏まえ、当社の発行体格付は、MUFG のグループ信用力「AA」相当と同等としている。
- (2) 証券口座数や預り資産残高はネット証券会社大手 5 社の中では小さいが、中長期的に増加している。口座獲得においては、これまで KDDI チャネル経由の件数が多かったが、足元ではグループ各社との連携施策やキャンペーンなどの展開により、MUFG チャネル経由の件数が伸長している。米国株や投信、債券などで顧客ニーズを捉えた商品・サービスを拡充しており、強みである MUFG ブランドと MUBK の顧客基盤を活用して顧客獲得を加速させる方針を掲げる。また、大口信用取引先に対して金利や手数料を優遇するサービス（大口優遇プラン）の適用を拡大するなどして、既存顧客の囲い込みにも取り組んでいる。競合他社における国内株式の売買手数料無料化などにより顧客の獲得競争が厳しい中、グループ各社との連携や商品・サービスの拡充などを通じて事業基盤を強化していけるか、JCR は注目していく。
- (3) 株式関連の取引により発生する収益のウエートが大きいこともあり、経常利益の変動は比較的大きい。25/3 期の経常利益は前期比 4 割の減益となった。大口優遇プランの適用拡大などによる委託手数料の減少を、トレーディング損益や金融収支の増加でカバーできなかった。また、システム費用を中心に販管費が増加しており、26/3 期上半期では前年同期比 6 割の減益となった。サービス拡充に伴うシステム投資などで販管費の増加局面が続く中、当社では短・中期的に信用取引で利益の回復を図る方針である。MUFG チャネル経由での顧客獲得などにより信用取引残高を拡大し、収益を確保していけるか注目していく。
- (4) 25 年 9 月末の自己資本規制比率は 200%台半ば。株主資本は 400 億円台前半とリスクに対して一定の厚みがあり、資本充実度に特段の問題はみられない。証券業務にかかる市場リスクは小さいうえ、FX 取引にかかるリスクはカバー取引によって抑制している。リスクが増加する局面などでは、MUFG からの支援により、自己資本規制比率が一定の水準になるようコントロールされると JCR はみている。流動性に懸念はない。資金ニーズは主に信用取引にかかるものであり、MUBK を中心に十分な調達枠を確保している。

（担当）阪口 健吾・南澤 輝・志村 直樹

■格付対象

発行体：三菱 UFJ e スマート証券株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	格付
短期発行体格付	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2025 年 11 月 20 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阪口 健吾
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「証券」（2025 年 4 月 2 日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 三菱 UFJ e スマート証券株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・境界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル